

第 228 号 発行日 平成 28 年 1 月 11 日

合格通信

今
月
の
名
言

両親がひたむきに生きる姿自体が、
どんな幼い子どもにもすばらしい
影響を与えるのです。

— 井深 大 —
(ソニー創業者)

明けましておめでとうございます。冬期講習会も終了し、3学期がスタートしました。すぐに「みや模試」「実力テスト」とテストがつづきます。講習会の成果が出ることを祈願しております。

私立、公立前期まで1ヶ月を切りました。ラストスパートの時期です。悔いを残さないよう、全力で頑張りましょう。

入試直前の今、あせらず集中するには…

この時期にやることは過去問や模試を活用して、
自分のわからないところをできるようにすること。



本番が近づいてくるとだれでもが焦りを感じるものです。「今頃こんなことをしていて間に合うのだろうか」だれもが思います。しかし、受験勉強といえども、3年間習ったところでわからないところをできるように勉強することです。ですからまずは自分のわからないところを知ることから始めます。それには過去問や模試の結果から、苦手分野を集中して復習すればよいのです。

間違っても1年の最初から順番に勉強するなんてことはやってはいけません。例えば理科の「電流と磁界」が弱いなら電流の「単元」や「章」全体を学習しましょう。不正解の問題だけを解きなおすのではあまり意味がありません。

もう一つ重要なことがあります。それは**やれば確実にほかどころを選ぶことです。**むずかしい問題にこだわってはいけません。難しくてわからない問題があると確かに不安です。でも入試は自分の解ける問題でミスをしなくて、確実に得点すれば合格できるのです。満点を取らなければならない理由はありません。確実に点になるところから優先して勉強しましょう。基本問題と標準問題が解けるようになれば、最後のほうで応用問題に取り組めるチャンスもやってきますから。